

## 教員業績一覧(生活科学科)

### 2. 学術論文

著者名	論文タイトル	掲載誌名	ページ	発表年月
赤澤真理	寝殿造における境界—女房装束の打出により演出される内と外—	人間文化研究機構国文学研究資料館英文オンラインジャーナル「境界をめぐる文学—知のプラットフォーム構築を目指して」		2018年3月
赤澤真理	建築空間の境界と打出の装束—附・「女房装束打出并押出之事」(宮内庁書陵部蔵) 翻刻—	人間文化研究機構国文学研究資料館研究紀要第44号	PP.275~320	2018年3月
赤澤真理	建築史の中の『源氏物語』—同時代の住宅像と考証学のあいだ—	比較日本学教育部門研究年報第14号、お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター	PP.54~64	2018年3月

### 3. 学会発表

発表者名	発表タイトル	学会名・大会名	発表年月日
松村光太郎, 林基哉, 小杉健二, 佐藤研吾	換気口付き壁面着雪による湿気と二酸化炭素の移動に関する実験的研究	(公社) 日本雪氷学会東北支部大会講演会	2017年5月13日
松村光太郎, 林基哉, 佐藤研吾	換気口への着雪が及ぼす湿気の移動に関する実験的研究	2017年度日本建築学会大会(中国) 学術講演会・建築デザイン発表会	2017年8月31日
松村光太郎	aikoの歌詞から想像される衣装デザインについて—その2 「三国駅」のスカート—	第19回日本感性工学会大会	2017年9月13日
松村光太郎, 林基哉, 小杉健二, 佐藤研吾	模擬室環境を用いた風洞実験—建築壁への着雪実験—	雪氷研究大会(2017・十日町)	2017年9月26日
松村光太郎	雪結晶のパッケージデザインに関する—考察—岩手県で販売されている商品について—	第13回日本感性工学会春季大会	2018年3月28日
赤澤真理	王朝文化と寝殿造—宮廷女房日記のなかの住空間像とその変容—	第7回「知」の試み研究会(山崎塾)、サントリー文化財団(毎日新聞東京夕刊、5月30日掲載)	2017年5月13日
赤澤真理	建築史の中の『源氏物語』—同時代の住宅像と考証学のあいだ—	第19回国際日本学シンポジウム「文化史上の源氏物語」お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所比較日本学教育研究部門	2017年7月9日
赤澤真理	近世住宅の空間と構成 大橋正浩「西高木家陣屋の御殿にみる近世武家住宅の公と私の構成」コメント	日本建築学会近畿支部建築史部会第2回研究会	2017年7月22日
赤澤真理	住吉具慶筆「源氏物語絵巻」(MIHO MUSEUM蔵)にみる建築表現の復古とその意味	第1回源氏絵データベース研究会、東京工業大学	2017年8月30日
赤澤真理・千葉映徳・宮彩香	明治41年盛岡巡啓における南部家別邸の空間構成としつらい	日本建築学会学術講演梗概集(中国)、pp. 227~228、広島工業大学	2017年9月2日
赤澤真理	女房装束打出并押出え事(宮内庁書陵部蔵)について	平安京の<居住と住宅>研究会、京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)	2018年3月31日

4. 調査報告

担当者名	調査タイトル	報告タイトル	共同研究先・委託研究先	報告年月
松村光太郎	着雪による換気口の閉塞に関する実験的研究Ⅱ		国立研究開発法人防災科学技術研究所（雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所）	2018年3月
松村光太郎, 高橋信一郎, 有原寿典, 佐藤さよ子, 平野裕幸, (株)リンデンバウム遠野, (株)佐藤組, 林基哉	空き家を活用した低コスト改修計画における断熱の提案		花巻市 地域振興部 定住推進課	2018年3月31日
松村光太郎	換気口の着雪が及ぼす室内環境に関する数実験的研究		克雪技術研究協議会	2018年3月31日

5. 雑誌掲載

著者名	記事タイトル	掲載誌名	ページ	掲載年月
松村光太郎	キャンパス生活体験 県立大盛岡短期大学部 高校生が実験や交流	岩手日報	24	2017年8月
松村光太郎, 納口恭明	⑩「エッキー」をつくろう	雪氷楽会in十日町 おもしろ科学体験 雪国っ子もトキめく！雪と氷のふしぎ	13	2017年9月
松村光太郎	⑪氷をつくろう	雪氷楽会in十日町 おもしろ科学体験 雪国っ子もトキめく！雪と氷のふしぎ	22	2017年9月
赤澤真理	⑬岩手県立大学盛岡短期大学部 生活科学科生活デザイン専攻 物語・絵画から中世の生活感にふれる（研究室紹介）	建築雑誌、日本建築学会、N01700	30	2017年7月
赤澤真理	文献抄録 平安京の地域形成	建築雑誌、日本建築学会、N01701	117	2017年8月

## 教員業績一覧(国際文化学科)

### 1. 著書

著者名	著書タイトル	出版社	ページ	刊行年月
原英子	「海を越える華僑華人の新宗教」 (華僑華人の事典編集委員会[編] 『華僑華人の事典』)	丸善出版	436-437	2017年11月

### 2. 学術論文

著者名	論文タイトル	掲載誌名	ページ	発表年月
原英子	「佐々木孝子報告へのコメント」 (佐々木孝子報告「原住民族の社 区営造活動への参加実態にみる宗 教属性の影響—アミ族を事例に、 共識を指標とする定量分析の試み—」第19回現代台湾研究学術討論 会)	台湾史研究会 『現代台湾研究』第47号	53-55	2017年7月
原英子	「バナナに関する台湾の伝説と 諺」	日本順益台湾原住民研究会編 『台湾原住民研究』第21号		印刷中
原英子	「バナナと芭蕉」	日本順益台湾原住民研究会編 『台湾原住民研究』第21号		印刷中
原英子	「解説 趙啟明(啟明・拉瓦)「説自己的 故事——一九三八年浅井恵倫鏡 頭下萬大社萬大群泰雅人的生活與 文化——」	日本順益台湾原住民研究会編 『台湾原住民研究』第21号		印刷中
三須田善暢	地域環境運動の展開過程と「停 滞」の諸要因—山形県遊佐町にお ける岩石採取反対運動の事例から—	『総合政策』第19巻, 岩手県 立大学総合政策学会	57-76	2018年(予定)

### 3. 学会発表

発表者名	発表タイトル	学会名・大会名	発表年月日
石橋敬太郎	デカールの『欲望の支配、あるいは 淫らな王妃』におけるスペインと モロッコとの関係—イングランド を取り巻く国際情勢から—	第56回シェイクスピア学会	2017年10月8日
Eiko Hara	How Surviving Families Communicate with the Dead since the Great East Japan Earthquake in 2011: Japanese Shaman Itakos' Ceremonial Religious Activities as Grief Care (2011年東日本大震災にお ける犠牲者と家族の会話—グリー フ・ケアとしてのイタコの宗教的 活動をとおして—)	「Crossing Boundaries in Culture and Communication (文化とコミュニケーションに おける交錯する境界)」(ブカレストのルーマ ニア・アメリカ大学では在ルーマニア日本国大 使館協賛で2017年5月15日から21日まで「The 7th edition of Japanese Culture Days (第7 回 日本週間)」が開催された。そのなかの学 術会議で基調講演者(Keynote speakers)として 招待された。)	2017年5月19日
松本博明	津波被災石碑の救出と石碑保存の 意義—岩手県山田町の事例から—	科学研究費補助金基盤研究(S)「災害文化形 成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災 を踏まえて」シンポジウム(新潟大学)	2017年12月2日

4. 調査報告

担当者名	調査タイトル	報告タイトル	共同研究先・委託研究先	報告年月
松本博明	津波被災石碑の救出と石碑保存の意義—岩手県山田町の事例から	科学研究費補助金基盤研究(S)「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」シンポジウム報告集	新潟大学災害・復興科学研究所 地震・火山噴火予知研究協議会 史料考古部会、 神戸大学	2018年3月(予定)

5. 雑誌掲載

著者名	記事タイトル	掲載誌名	ページ	掲載年月
松本博明	南八枝子著『柳田国男「歌のわかれ」と島崎藤村』(書評)	『日本民俗学』291号(日本民俗学会)	135	2017年8月
松本博明	伊藤好英著『折口信夫—民俗学の場所』(書評)	『日本文学』第66巻12号(日本文学協会)	88-89	2017年12月
松本博明	津波被災石碑の救出と石碑保存の意義—岩手県山田町の事例から	『「被災地フォーラム新潟」講演要旨集』(新潟大学災害・復興科学研究所)	9-11	2017年12月
松本博明	岩手県山田町の動植物慰霊碑—石碑悉皆調査から見えてきたもの—(論文)	『岩手民俗』第12号(岩手民俗の会)		2018年3月(予定)
三須田善暢	土屋喬雄と石神調査	伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹編『コミュニティ事典』春風社	44-45	2017年7月
三須田善暢	Iターン者定住集落の営農=生活志向—山形県飽海郡遊佐町藤井の事例から—	『社会学研究』第100号, 東北社会学研究会	9-38	2017年9月